

口腔内に着目した機能性表示食品として、「ロイテリヨーグルト」に続き第2弾！

いま、注目の
乳酸菌 “ロイテリ菌”入りの「ロイテリ お口のサプリメント」が
機能性表示食品として消費者庁に受理されました。

2017年11月22日

オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社

オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：野津 基弘）が日本カバヤ・オハヨーホールディングスのロイテリシリーズ第2弾として手掛ける「ロイテリ お口のサプリメント」が、このたび機能性表示食品として受理されました。

「ロイテリ お口のサプリメント」は、生きたロイテリ菌（*L.reuteri DSM17938株*）を2億個含んでおり、口腔内フローラを良好にすることで、歯ぐきを丈夫で健康に保つ機能が報告されています。夜、歯磨き後にもお召し上がりいただけるため、菌も口腔内に定着しやすく、1日1粒なめていただくだけという手軽さも魅力です。（2018年2月に当社通販サイトより発売予定）

ロイテリ菌は世界約90の国と地域において、小児科や産婦人科、内科、歯科などの医療現場を中心に症例を積み重ねながら普及してきました。実際に、ロイテリ菌を用いて体内の菌バランスを整える“バクテリアセラピー”は、医療先進国スウェーデンを起点として、昨今世界中で注目度が高まっています。

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループは昨年、人生100年の時代において「医と食のバランスを変える」というビジョンを掲げました。その中で、ヘルスケア領域に関わる新規事業をリードする役割を担うのが『オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社』です。当社は今後、食を通じて健康寿命の延伸に貢献すべく、ロイテリ菌関連商品を皮切りに事業を展開していきます。

■「ロイテリ お口のサプリメント」商品特長■

- ①「ロイテリ お口のサプリメント」は、「ロイテリ ヨーグルト」（オハヨー乳業）に続き、国内で2番目に口腔内領域（歯ぐきを丈夫で健康に保つ機能）で受理された機能性表示食品です。 ※2017年11月22日現在、当社調べ
[届出表示] 口腔内フローラを良好にするロイテリ菌（*L.reuteri DSM17938株*）は、歯ぐきを丈夫で健康に保つ機能が報告されています。
- ②生きたロイテリ菌（*L.reuteri DSM17938株*）を2億個含有したサプリメントです。
- ③砂糖不使用・歯磨きの後にもお召し上がりいただける成分で、飽きのこないさわやかなナチュラルミント味です。



機能性表示食品
(届出番号：C247)

商品名	ロイテリ お口のサプリメント
品名	乳酸菌含有食品
容量	30粒入り 24g (0.8g×30粒) 10粒入り 8g (0.8g×10粒)
賞味期間	18ヶ月
保存方法	本品は生きた乳酸菌を使用していますので、 高温・直射日光を避け、25℃以下で保存してください。
発売時期	2018年2月 発売予定 (当社通販サイトより発売予定)
販売地域	全国

■オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社■

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループの事業会社として、2017年4月に設立

<事業内容>

- (1)乳酸菌並びに乳酸菌利用製品、乳製品、栄養補助食品、清涼飲料、その他の飲料の輸入、製造、販売
- (2)生化学、医学、薬学等生命科学の基礎及び応用を対象とする研究、開発、調査並びにそれらの受託及びコンサルティング業務

ロイテリ菌の特徴と効能 ご紹介

ロイテリ菌は、その効能、エビデンスの多さから「スーパー乳酸菌」とも呼ばれ、医療現場をはじめとして世界中で注目を集めています。ここでは、日本ではあまり知られていないロイテリ菌の特徴と効能の一部をご紹介します。

ロイテリ菌の特徴

もともとは多くのヒトの体内にすみ着いていた

ロイテリ菌は元来、母乳を通じて多くのヒトの体内に定着していましたが、投薬治療や食品添加物等、現代に至るまでのライフスタイルの変化により、失われてきてしまったといわれています。



ロイテリ菌は、どんな乳酸菌か

体内菌をコントロールする「細菌の指揮者」

ロイテリ菌は、抗菌物質を産生して悪玉菌を抑え、善玉菌を活性化します。まさに指揮者として体内の菌バランスをコントロールし、私たちを健やかな毎日に導きます。

ロイテリ菌のはたらき

有害な菌に対して

ロイテリンという物質を作り出し有害な菌の発育を抑えます。

有益な菌に対して

ダメージを与えず、有益な菌を増加させます。



圧倒的な実績・科学的根拠が揃っている

ロイテリ菌は、ノーベル生理学・医学賞の選定機関としても有名な、スウェーデンのカロリンスカ医科大学で90年代から研究が続けられてきました。

科学論文146件、博士論文13件、被験者14,700名以上と、数ある乳酸菌の中でも圧倒的な臨床実験実績を誇り、世界約90の国と地域で採用されています。その症例の領域は、口腔内をはじめ、胃腸性疾患、免疫・アレルギーなど多岐に渡ります。



ロイテリ菌の機能・効能

口腔内、腸管表面への付着能力が高く、生きて腸まで届く

ロイテリ菌は、元来ヒトのカラダに存在していたため、胃酸や胆汁に負けず、体内で生きる力が強い乳酸菌です。

また、消化管に定着しやすく、バクテリアセラピーによる継続的な効果が得られやすいといわれています。



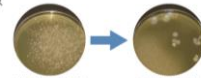
抗菌物質を産生する希少な乳酸菌

ロイテリ菌は、「ロイテリン」という天然の抗菌物質をつくります。この「ロイテリン」によって、口腔内では歯周病菌や歯垢、口臭の原因菌等を抑制し、胃では胃酸抑制剤との併用でピロリ菌の除菌にも成功したと、報告されています。

ロイテリ菌が歯周病を予防し歯周病治療が革新的に進歩する

5種類の歯周病菌を抑制することを確認。

- ポルフィロモナス・ジンジバリス
- アクチノバクテリウム・イソヘムリス
- アクチノバクテリウム・アクタノマイセラム・コロニカンス
- フリジバクテリウム・ヌクレオタム
- プレオボタリウム・ニグレンセン



歯周病に効果的な抗菌物質の産生
[1] (2012年発表)
Hultberg M et al. Antimicrob (2012)

ヒト免疫システムに働きかける

ロイテリ菌は小腸において、免疫システムに欠かせないCD4陽性Tリンパ球を増加させたり、炎症性サイトカインを調整する機能があることが臨床実験のなかで明らかになっています。このように、免疫システムに働きかけ、免疫低下によって引き起こされるさまざまな病気のリスクを低減が期待できます。



※「ロイテリ菌研究所」サイトでは、ロイテリ菌の具体的な症例や医師のコラム等をご紹介します。(http://ohayo-bio-reuteri.com/)